

先生方のおすすめ本！

司馬遼太郎 著『竜馬がゆく』(文藝春秋)

推薦人 高校・地理歴史 柴谷 崇之 先生

30年前、英語を勉強しようと思って文学部に進学したのですが、挫折してしまって何をしたらいいのか、途方に暮れていました。そんなとき、日本史好きの友人から進められた(私は高校時代、日本史が最も苦手でした)のが『竜馬がゆく』でした。小説とはいえ、歴史って人間がつくっていくんだなあと感じました。特に「薩長同盟」(文庫版6巻)・「大政奉還」(文庫版8巻)は、日本史好きは必読です。

今 明秀 著『青森ドクターヘリ劇的救命日記2 空飛ぶ院長、医療過疎を救う！』(毎日新聞出版社)

推薦人 高校・英語 立崎 里奈子 先生

かつて本校の講演会で、今先生が講師としていらっしゃったことがあります。ドクターヘリ実現への熱い思いと、ユーモア溢れる人柄に魅了されたのを覚えています。テレビ番組「情熱大陸」にも出演していました。この本は、ドクターヘリに続きドクターカーを実現させるまでの経緯、先生の出身地である八戸市立病院 ER での救命救急医療現場のドキュメントです。実現のためにとにかく行動に移す先生の積極性からきっと刺激をもらえますよ。医療系を目指す人はもちろん、そうでない人も一読の価値あります。

小笠原喜・康岡則夫 著『中高生からの論文入門』(講談社現代新書)

推薦人 高校・理科 平川 祐輔 先生

人工知能やロボット等により、私たちがとりまく環境は急激に変化しています。こうした変化の中で、みなさんに求められる力が探究力です。自分で課題を見つけ、その解決のために考えを組み立て、仲間とともに検証を重ねます。これが探究です。そして、成果を公表するための論文の書き方がこの本に書かれています。GSコース生に限らず、みなさんに読んでもらいたい一冊です！

川瀬七緒 著川瀬七緒 著『147ヘルツの警鐘』(講談社)

推薦人 高校・数学 中野渡 和隆 先生

法医昆虫学捜査官という新しいジャンルを確立させた作者
法医昆虫学捜査官とは、死体に湧く昆虫(蛆虫)などの育成の様子から警察の捜査に協力する捜査官のこと。主人公は赤堀という根っからの昆虫大好き女性学者。岩橋刑事とのコンビも良く、真実にたどり着く様子も程よいテンポで飽きさせない。
続編が5冊あり、『シンクロシティ』『水底の棘』『メビウスの守護者』『潮騒のマニア』『虹のアンテッド』と続きます。是非一読してみてください。

瀬尾まいこ 著『そして、バトンは渡された』(文藝春秋)

推薦人 中学校・美術 高木 陽子 先生

17歳の優子という高校生が主人公のお話です。合唱コンクールや進路、友人との関わりなど、高校生活の日常にスポットをあてているので、読みながら懐かしい気持ちになりました。父親が3人、母親が2人いるという、なんとも不思議な家族設定なのですが、それぞれの人物の優しさが光り、ほのぼのとした物語になっています。家族とは何か、考えさせられる本です。

三浦しをん 著『仏果を得ず』(双葉文庫)

推薦人 高校・国語 相馬 圭太郎 先生

魅力的な登場人物たちを通して描かれる和やかな雰囲気
文楽を題材にした作品ですが、説明もありますので文楽を知らずとも楽しめます。
文楽は人を映します。演じるのは人だからです。
文楽と向き合い、人と向き合い、自分と向き合う主人公と、それを取り巻く忙しくも愉快的な雰囲気に、読んだ人はきっと居心地の良さを感じるはず。是非読んでみてください。

取材・撮影	1年1組：	・	1年2組：	・
	1年3組	・	3年1組：	・
	3年2組：	・	3年3組：	・